

講座の目的：統計学の基礎やデータの見方等、データ分析の基本的な知識を学習し、身近なデータの活用に役立てる

開 講 日：令和3年5月18日（火）

学 習 時 間：1回10分程度×6～9回程度（1週間）×4週

課 題：各週の確認テストと最終課題の実施

講 師：西内啓氏（統計家）、大学教授等、
総務省統計局及び（独）統計センター職員



週	各週のテーマ	内 容
1	統計データの活用	豊富な分析事例を通じ、分析に用いる統計的な考え方・データの見方の基本的な考え方を学ぶ（データサイエンスとは、M字カーブの改善効果、国際比較データから日本社会を読み解く等）
2	統計学の基礎	データ分析に必要な統計学の基礎的な理論を学ぶ（代表値、分散・標準偏差、関係の見方・相関係数、回帰分析、標本分布等）
3	データの見方	データの見方について基本的な方法を学ぶ（比率の見方、時系列データの見方等）
4	公的データの使い方とコースのまとめ	誰もが入手可能なデータである公的統計データの入手方法を学び、コースのまとめを行う（公的データの入手方法、e-Stat ^{※1} や統計ダッシュボード ^{※2} の使い方、コースのまとめ等）

※1 政府統計の総合窓口

※2 主要な統計データをグラフ等に加工し、視覚的に分かりやすく簡単に利用できる形で提供するWebサイト

▶ 講座の流れ

講義動画

講師による説明動画でデータサイエンスを分かりやすく解説



確認テスト及び最終課題

各週の確認テストにより理解度を確認、最終課題により習熟度を確認



修了証の発行

確認テスト及び最終課題の得点率により修了証を取得

▶ これまでに開講したデータサイエンス・オンライン講座

「社会人のためのデータサイエンス入門」

（講座の特徴）
データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座

（開 講 時 期）
平成27年3月、11月
平成28年3月※、12月
平成29年5月※
平成30年5月、11月※
平成31年4月※
令和元年10月、12月※
令和2年5月、9月※、12月※

（学 習 時 間）
1回10分程度×6～9回程度
（1週間）×4週

（実 績）
社会人を中心に延べ
約128,000人が受講

「社会人のためのデータサイエンス演習」

（講座の特徴）
「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ

（開 講 時 期）
平成28年4月、11月※
平成29年11月
平成30年6月※
令和元年5月、10月※
令和2年9月

（学 習 時 間）
1回10分程度×5～6回程度
（1週間）×5週

（実 績）
社会人を中心に延べ
約49,000人が受講

「誰でも使える統計オープンデータ」

（講座の特徴）
公的統計の基本的な知識とデータ分析の実践的な手法を学び、統計オープンデータの活用へ

（開 講 時 期）
平成29年6月、10月※
平成30年12月
令和2年1月
令和3年1月

（学 習 時 間）
1回10分程度×5～7回程度
（1週間）×4週

（実 績）
社会人を中心に延べ
約26,000人が受講

※特別開講：参考として動画の閲覧のみ可能な講座